

姉妹町「石川県中能登町」への

寄付金を募集しています

紀宝町では、令和6年能登半島地震で被災した、姉妹町「中能登町」を支援するため、募金箱の設置、およびふるさと納税の災害支援寄付金を代理で受け付けています。みなさまの温かいご支援をよろしくお願ひします。

募金箱の設置

以下の施設にて中能登町、能登半島地震災害義援金の募金箱を設置しています。

【設置場所】

- ・紀宝町役場 1階ロビー
- ・相野谷診療所 受付前
- ・はぐくみの森 1階事務室前
- ・まなびの郷 1階事務室前

【受付期間】

当面の間

▶詳しくは、役場福祉課（☎33-0339）まで。



ふるさと納税の災害支援代理寄付

被災地の自治体の負担を軽減するため、紀宝町が中能登町へのふるさと納税による災害支援を代理で受け付けます。

【受付期限】 3月31日（日）

【支援の申込方法】

右記QRコード（ふるさとチョイス災害支援）から手続きしてください。



【注意事項】

- ・この寄付は「ふるさと納税」の対象です。（寄付金受領証明書は紀宝町長名で発行します。）
 - ・災害支援のため、お礼の品はお送りしません。
 - ・寄付は2,000円からで、決済方法はクレジットカード決済のみです。
 - ・紀宝町在住の方も利用可能（控除の対象）です。
- ▶詳しくは、役場産業振興課（☎33-0336）まで。

つむぎつむぎ

各調査に行ってきました

1月の終わりにごる家屋調査班として中能登町に行ってきました。自分の車にスタッドレスタイヤを着けたこともなく、冬は雪が降るところへは行かず避けていたので、行く前は寒さと雪道にビビっていました。

そしてちょうど行くタイミングで寒波がきてしまい、向かう途中から雪が降り出し、宿泊のホテルに着いたころには雪に加え雷が鳴り響き、雪国の洗礼を受けました。家屋調査で中能登町を周りましたが、土地柄が増築されている家が多く、やはり古い部分の被害が多いように感じました。今回の調査では家の中に入っていないませんが、外観では被害を受けていないように見えても、家の中は大変なことになっていたんだろうと想像し、散らかり気味な我が家も片付けをしないと改めて感じました。

（今回も大雪ですべてこのうらだ 愛野裕基）

町内で働く仲間を増やしたい

以前もひとりごとを書きましたが、私は地元で就職することが目標でした。そんな話をすると「めずらしい子やね」と言われることも多々ありますが、大学に入學したときから「絶対地元で就職。早く帰りたい」が口癖でした。

最近遠方に住んでいる友人に「帰ってきたら？」と話してみますが、だいたい働く場所を探すのが大変という結論に至ります。そんな中、町では初の合同就職説明会が開催され、人手不足解消に向けた取り組みが進められています。こういった取り組みの中で、町や町で働くことの魅力を感じて、紀宝町で働く仲間が1人でも多く増えてほしいし、あわよくば知り合い全員が紀宝町に住んでくれたらいいのになあと夢見る私なのでした。

（紀宝町大好き人間 桑原菜央）



広報担当
桑原菜央



広報担当
愛野裕基